

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

応募者に関する情報

記入日： 2012年11月16日

応募者情報	
応募 団体名	(フリガナ) クラリオン
	クラリオン株式会社 (団体名) <small>※協働プロジェクトでの応募の場合は、代表団体名以下プロジェクトに参加している主な団体名をご記入下さい。</small>
応募 担当者 連絡先	団体名： クラリオン株式会社
	所在地： 〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2
	部署名： CSR推進室・環境グループ
	役職名：
	氏名： 茂木 憲司
	TEL： 048-601-3613 FAX： 048-601-3701
	E-Mail： kenji_motegi@clarion.co.jp
ホームページ	http://www.clarion.com/jp/ja/top.html
<p>応募団体の主たる事業（※行政の場合は、記入は不要。最大2000字入力できます。詳細は別紙添付可）</p> <p>■車両関連機器の製造・販売など クラリオンは自動車産業の歴史とともに歩んできたといっても過言ではありません。日本初のカーラジオ、そして、日本初のカーステレオの発売など、車載機器の黎明期より業界のフロントランナーとして常に時代をリードし続けてきました。その企業スタンスは、ドライバーのニーズをしっかりと受け止めて確かな技術で応えること、さらに、豊かな創造力で常にユニークな製品を提案すること。 カーラジオからカーAV、そしてカーナビへと時代が変わっても、これまで生み出してきた知的財産と企業理念を融合させ、クルマを中心とした移動空間すべてにおいて「音楽と情報のインターフェース」を目指して、「Clarion H.M.I.」を追求してまいります。</p> <p>■実績 ・2008年「EISAアワード」の「European IN-CAR A/V HEAD UNIT 2007-2008」受賞 ・2007年ホンダアクセス「優良感謝賞・開発部門」受賞 ・2007年ダイハツ「商品開発優秀賞」受賞 ・「2006年度上海GM優秀サプライヤー賞（Infotainment部門）」受賞 その他多数。</p> <p>■主な商品 ・カーナビゲーション、カーオーディオ、パワーアンプ、スピーカー、サブウーファー、車載用カメラ、アクセサリ（ナビオーディオ）、その他法人向け商品</p>	

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体で A4 用紙 3 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_data1ist.html

1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

Clarion Report 2012 の 13,000 部の印刷・製本の電力使用に係るカーボン・オフセット

2. カーボン・オフセット活動の概要

<カーボン・オフセットの分類>

以下の4分類からひとつ選び、□をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット
- 会議・イベントオフセット
- 自己活動オフセット
- 自己活動オフセット支援

【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準(Ver.1.1)」に基づく分類

http://www.jcs.go.jp/pdf/document/ki_jun.pdf

<カーボン・オフセット対象・・バウンダリ>

対象…Clarion Report 2012 の 13,000 部の製本・印刷

バウンダリ…製本・印刷に係る電力使用

<カーボン・オフセットの取組の実施期間>

2012 年 6 月

<カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

■Clarion Report 2012

http://download.clarion.com/common/clarion_report/12ClarionReport_J_Company.pdf

■カーボンフリーコンサルティング株式会社 実績紹介ウェブページ

http://carbonfree.co.jp/results/results_04_03.html

3. 1次審査項目

①自らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識

カーボン・オフセットの取組内容に際して、排出量の算定についてお書きください。

(自己活動オフセット支援以外の場合)

①-1 算定方法

製本・印刷に係る電力使用：＜電力使用量＞×＜排出係数（kg-CO2/kWh）＞

①-2 計算詳細

項目	活動量	排出係数	CO2 排出量
会場の電力使用	462.32kWh	0.384kg-CO2/kWh	177.53kg-CO2
オフセット量			1t-CO2

①-3 排出量の算定に利用したデータ種類

電力使用量

②排出削減努力の実施

取り組まれた排出削減努力について該当とする取組に✓をつけてください（複数可）。なお、取組のアピールも含めた詳細については、応募用紙③「1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力」に詳しく記載して下さい。

節電 節水 廃棄物の減量化 省電力機器の導入 公共交通機関の利用・呼びかけ

その他（家庭での環境意識啓発、グリーンカーテン※）
※窓や壁に植物を育成すること

③オフセットの手続き

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>

国内クレジット 100%

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

表面加工印刷工場におけるボイラーの更新 00568-104

<カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

クレジット償却日：2012年7月20日

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体で A4 用紙 4 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html

1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

【ISO14001 取得】

クラリオンは、環境保全活動を推進するため、2000年にISO14001の認証を取得した。また、海外関係会社では、2008年3月末までに8拠点でISO14001の認証取得を完了した。このように環境マネジメントシステムを構築し、グループ一体となった環境推進体制を整備している。環境委員会や全社機能を横断する4つの専門部会を中心に活動を推進し、国内各サイトでは、環境マネジメントシステムの適切な実施・維持を把握するため、年1回の外部認証機関による定期審査と年2回の内部監査を実施している。

【グリーンカーテン活動の実施】

「グリーンカーテン」とは、つる性植物を建物の窓や壁に沿って育成することにより、葉の蒸散作用と太陽光の遮断効果から、室温を3～5℃低減させることが出来る取り組みである。CSR推進室・環境グループよりゴーヤの種を希望者へ配布し、各家庭において「グリーンカーテン」を育成し節電活動の推進に努めた。

【家庭での環境意識啓発】

家庭での環境意識啓発のため、節電に関する内容や環境への取り組み記事を集めたパンフレット、新聞を発行している。

【省エネ機器の導入】

国内で2015年度にCO2総排出量を20%削減（1990年度比）、または生産高CO2原単位10%削減（2005年度比）という2つの削減目標を掲げて活動し、その一環として製造工程において省エネ設備を導入した。その結果クラリオングループが2011年度に使用した全エネルギーをCO2排出量に換算すると5,720t-CO2であり、2007年度比で約40%のCO2排出量を削減に成功した。

【福島議定書入賞】

「福島議定書」事業とは、地球温暖化を防止するため、福島県内の事業所が省エネルギー対策に取り組み二酸化炭素などの温室効果ガス削減を図ることを、福島県知事と議定書を取り交す事業である。クラリオンは2009年より活動に参画し、2011年度は2,239団体が参加する中、上位15団体が表彰を受け、当社は製造業として入賞した。東日本大震災の影響が厳しい状況の中、製造部門等の努力により電気使用量を削減できたことが評価されての受賞となった。

【グリーン調達推進】

クラリオンは、グリーン調達活動を推進している。この活動により、製品ライフサイクルすべての段階での積極的な環境負荷低減を目指すものとし、さらに環境負荷の少ない物品の調達を推進するために、2010年に「グリーン調達ガイドライン」を改訂し、各種の法規制や業界の基準に適合した製品づくりをサプライヤーと協力して推進している。

2. カーボン・オフセットの内容

2012年は当社CSR活動等が掲載されている「クラリオンレポート」13,000部の印刷や製本によって排出されるCO2の一部を、埼玉県の企業の国内クレジットを充当しオフセットしている。以前は京都クレジットを用いて再生可能エネルギーに間接的支援を行う等、カーボン・オフセットを通じて、社内のみならずステークホルダーや地球全体を視野に入れて環境CSR活動に取り組んでいる。今後も全社的にカーボン・オフセットを行っていき、その実績を随時公表していく予定である。

3. 環境、地域・社会、産業振興等の貢献性

次の①～④のいずれか（複数可）の観点での貢献性についてアピールしてください。

当社が排出権購入によるカーボン・オフセットを行ったことによって、かねてから結びつきの強かった取引先各社にもカーボン・オフセットが広く認知されることとなった。それによって今回の取り組みが、カーボン・オフセットの理解や地球温暖化防止の啓発に貢献につながったと考える。

4. 普及啓発の創意工夫とその成果

CSR 報告書等にカーボン・オフセットの取り組みの説明を記載することにより、閲覧した一般生活者のカーボン・オフセットの認知、理解の向上につなげている。また、ウェブページを通じてカーボン・オフセットの概要、意義、課題などを図とともにわかりやすく説明することで、一般生活者はもちろんステークホルダーのカーボン・オフセットの認知を促している。

5. ストーリー性

今回のカーボン・オフセットは、当社グループ内に限定された地球温暖化防止の取り組みではなく、バリューチェーン全体への啓発の意味を込めた取り組みとなっている。この取り組み実績は当社 HP 上に記載されている。

以上に記載された取組について別途説明資料がございましたら、PDF の場合はメールでお送りいただくか、現物資料を郵送ください。

また、公開可能な商品・サービスの様子がわかる写真を（JPEG 等）お送りください。

第 2 回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙一式 送付先およびお問い合わせ先

カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局

（担当：入山、井上）

〒東京都港区芝公園 3-1-8 芝公園アネックス 7 階

電話 03-5776-1223 ファックス 03-5472-0145

E-Mail award@carbonoffset-network.jp